


環境省・オフセット・クレジット認証運営委員会  
(事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成 23年3月31日

## オフセット・クレジット(J-VER)プロジェクト登録依頼書

オフセット・クレジット(J-VER)制度における妥当性確認が終了しましたので、プロジェクト登録を依頼します。

プロジェクト名 <sup>1</sup>			
久留米市田主丸財産区 間伐推進プロジェクト			
【依頼者】プロジェクト代表事業者			
事業者名(フリガナ)	久留米市田主丸財産区 (クルメシタヌシマルザイサンク)		
住所	福岡県久留米市城南町 15 番地 3		
代表者氏名	久留米市長 榑原 利則		
担当者氏名	矢野 正治	担当者 所属部署・役職	田主丸総合支所産業振興課長
担当者 E-mail	myano@city.kurume.fukuoka.jp	担当者電話番号	0943-72-2110
プロジェクト事業者・プロジェクト参加者			
プロジェクト事業者名	久留米市田主丸財産区 (クルメシタヌシマルザイサンク)		
プロジェクト参加者名			
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者			
事業者名(フリガナ)	以下のうち当てはまる項目に☑ <input checked="" type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト代表事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト参加者である。		
妥当性確認機関			
妥当性確認機関名	(社)日本能率協会 地球温暖化対策センター		

<sup>1</sup> プロジェクト名は、抽象的な表現を避け、「〇〇県△△事業者による□□（排出削減技術）を用いた温室効果ガス排出削減事業」のように、先にプロジェクト実施場所やプロジェクト事業者名を入れる等により、第三者に事業内容が伝わりやすいものとしてください。但し、事業の愛称やキャッチコピーをサブタイトルとしてつけていただくことは可能です。


プロジェクト情報																															
プロジェクト概要 <sup>2</sup>	<p>(具体的な内容を簡潔に記載すること。)</p> <p>【プロジェクトの目的・内容】</p> <p>本プロジェクトは、福岡県久留米市田主丸町の田主丸財産区有林において森林施業計画に基づいた適切な間伐の実施による対象森林の健全な水源かん養機能・山地災害防止機能を持続的に管理及び維持するとともに、田主丸財産区有林での二酸化炭素吸収量の維持・増加を目的とし、J-VER クレジット発行による追加的資金より、持続可能な森林経営を実現していく。</p> <p>【適格性基準との整合性】</p> <p>本プロジェクトの対象地は、森林計画対象の森林であり、森林法第5条に定める森林である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林施業計画対象の中で2007年から2013年までの期間に間伐が行われる林分を対象とする。</li> <li>・本対象地での土地の転用はクレジット期間内には計画されていない。</li> <li>・主伐はクレジット期間内において計画されていない。</li> <li>・施業計画の期間は 2009 年 12 月 1 日～2014 年 11 月 30 日まで</li> </ul> <p>本プロジェクトの対象地は、福岡県の認定を受けた森林施業計画対象林である。</p> <p>【法令遵守状況】</p> <p>森林・林業基本法、森林法、自然公園法(県立自然公園法 3 種)</p> <p>【採用技術】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>メーカー名</th> <th>耐用年数</th> <th>導入時期</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Juno-SB</td> <td>トリンブル</td> <td>4 年</td> <td>平成 21 年 12 月</td> <td>GPS 端末</td> </tr> <tr> <td>GP Pocket</td> <td>ジッタ</td> <td>3 年</td> <td>平成 21 年 12 月</td> <td>GPS データ処理ソフト</td> </tr> <tr> <td>Pathfinder Pro XT</td> <td>トリンブル</td> <td>5 年</td> <td>平成 21 年 12 月</td> <td>GPS 受信機</td> </tr> <tr> <td>TRUE PULSE 360B</td> <td>レーザーテクノロジー</td> <td>5 年</td> <td>平成 21 年 12 月</td> <td>樹高測定器</td> </tr> <tr> <td>輪尺</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>胸高直径測定</td> </tr> </tbody> </table> <p>【モニタリング方法】</p> <p>モニタリングガイドラインにのっとり、面積・樹高を実測することにより吸収量を確定させる。</p> <p>【GHG 算定式の方法論への準拠性】</p> <p>No.R.001 Ver. 4.1 にのっとり吸収量を計算する。</p> <p>【モニタリング体制】</p> <p>吸収量算定責任者 久留米市田主丸総合支所産業振興課 課長 吸収量算定確認者 久留米市田主丸総合支所産業振興課</p>	機器名	メーカー名	耐用年数	導入時期	備考	Juno-SB	トリンブル	4 年	平成 21 年 12 月	GPS 端末	GP Pocket	ジッタ	3 年	平成 21 年 12 月	GPS データ処理ソフト	Pathfinder Pro XT	トリンブル	5 年	平成 21 年 12 月	GPS 受信機	TRUE PULSE 360B	レーザーテクノロジー	5 年	平成 21 年 12 月	樹高測定器	輪尺				胸高直径測定
	機器名	メーカー名	耐用年数	導入時期	備考																										
Juno-SB	トリンブル	4 年	平成 21 年 12 月	GPS 端末																											
GP Pocket	ジッタ	3 年	平成 21 年 12 月	GPS データ処理ソフト																											
Pathfinder Pro XT	トリンブル	5 年	平成 21 年 12 月	GPS 受信機																											
TRUE PULSE 360B	レーザーテクノロジー	5 年	平成 21 年 12 月	樹高測定器																											
輪尺				胸高直径測定																											

<sup>2</sup> プロジェクト概要は、プロジェクトの目的・内容の他、適格性基準との整合性・法令遵守状況・採用技術・モニタリング方法・GHG 算定式の方法論への準拠性・モニタリング体制・QA/QC 体制等に関することを 2 ページ以内で具体的に記述してください。



<p>吸収量算定担当者 久留米市田主丸総合支所産業振興課 農政チームリーダー データ入力内容のチェック吸収量算定担当者 久留米市田主丸総合支所産業振興課 農政チーム 業務委託指示及び教育訓練 農政チームリーダーがモニタリング実施者を教育・訓練 モニタリング実施者 浮羽森林組作業班 内部監査員 久留米市田主丸財産区議員</p> <p>【QA / QC 体制】 吸収量算定責任者は、田主丸財産区関係者に対し、J-VER 制度並びにモニタリング方法等について、教育訓練としてモニタリング前に学習会を行い、制度を熟知させる。 内部監査委員は、吸収量算定責任者が保管しているデータ等から無作為に抽出したデータを取り出し必要な書類が正しく保管されているか。また入力されたデータの承認が正しくされているか等の監査を行い、問題等があった場合には、吸収量算定責任者に対し是正勧告を行い、その修正結果を確認する。</p>							
プロジェクト実施場所	(プロジェクト実施場所が複数ある場合は、全ての住所を表形式等で記述する。) 久留米市田主丸財産区						
<方法論 R001・R003 のみ>							
プロジェクト対象面積	529.68ha						
プロジェクト期間	2009年 4月 1日 ~ 2013年3月31日 (4年0ヶ月)						
クレジット期間	2009年 4月 1日 ~ 2013年3月31日						
プロジェクト計画開始届提出日	23年 1月25日						
妥当性確認終了日	23年 3月28日						
想定削減・吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO <sub>2</sub> <sup>3</sup>	—	648	1,412	2,572	3,564	8,196
適用モニタリング方法ガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドライン ( 森林管理プロジェクト用) Ver. 2.1						
適用方法論	方法論番号	No.R.001 Ver. 4.1					
	方法論名称	森林経営活動による CO2 吸収量の増大(間伐促進型プロジェクト)に関する方法論					
ダブルカウントの防止措置							

<sup>3</sup> 小数点以下は切り捨てとし、トン単位で記載してください。よって、小数点処理のため、表記上では単年度の削減量・吸収量の合計と、各年度合計量が異なることもあり得ます。

ダブルカウントの防止の措置を講ずる事業者	(プロジェクト代表事業者と同一の場合は記入不要) 久留米市田主丸財産区 (クルメシタヌシマルザイサンク)	
公的な報告・公表制度(判明している公的制度)	なし	
自主的な報告・公表対象(対象となるホームページ、環境報告書等)	なし	
備考欄		
<div style="border: 1px solid black; height: 180px;"></div>		

以上